

道徳科学習指導案

令和3年11月11日(木) 第6学年1組(6年1組教室)

【主題】 どう生きていくべきか？(中心となる内容項目D19「生命の尊さ」)「生命のメッセージ」「命と向き合う人生」「負けないで」

考察	道徳的諸価値についての理解 (学習活動)	自己の生き方についての考え (学習活動)	道徳性 (道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的实践意欲と態度) (育成を目指す資質・能力)
育成を目指す 資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 命の連続性や有限性, 命を大切にしたり前向きに生きていくことの難しさについて理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活経験を基に, 人間の命の大切さや命を大切にしたり前向きに生きていくことについて, 友達や教師と話し合いながら, 自分なりに考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の命を大切に, 自己の生き方について考えようとする道徳的实践意欲と態度を養う。
児童の 実態	<ul style="list-style-type: none"> 命が大切であることは理解しているが, その理由は, 十分に理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の児童は, 命が大切な理由を, 自分なりに考えている。 多くの児童は, 命を大切にしたり前向きに生きていくことの難しさを, 考えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の命を大切にすることの善し悪しや, 自己の生き方の善し悪しについて考えるような道徳的判断力はもてていない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 命は大切なものである。なぜなら, 命は, 祖先から代々受け継がれてきたものであり, 一度命を失ってしまったら二度と元に戻ることがないからである。しかし, 高学年の児童は, そのような命の大切さに漠然と気付いてはいるが, それを踏まえた上で, どのように生きていくかについては考えられていない。そこで, 命を大切にしたり前向きに生きていくことの難しさに気付くことで, より自分の命を大切に, 自己の生き方について考えようとする道徳的实践意欲と態度を養えるようになる。 交通事故により息子を亡くし「生命のメッセージ展」を開催する人, 自分の体が不自由でいったんあきらめたのにも関わらず55歳から獣医師を目指して努力をする人, 震災により家族を亡くす辛い経験を感じつつも自分の夢に向けて努力をしている人の生き方から, 命の大切さや命を大切にしたり前向きに生きていくことの問題意識をもつことができる。課題を追求していく中で, 命の連続性や有限性, 自分の人生を精一杯生きることの素晴らしさ, 辛いことに負けずに生きることのよさなどに気付く。そして, 自分がどう生きていくかについて考えることで, 自分の命を大切に, 自己の生き方について考えられるようになる。 		
見方・考え方	命の大切さや命を大切にしたり前向きに生きていくなどについて, 自己との関わりで多面的・多角的に捉え, これからの自己の生き方について考えること。		
今後の学習	中学校で, 生命の尊さについて, 偶然性や社会的関係性などの側面から考える学習へと発展していく。		
他の教育活動 との関連	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生き方を考えることについて 例: 毎月の生活の振り返りをする場面, くすの木での学習で商店街との関わり方を考える場面 		

テーマ課題：自分はこれからどのように生きていくか？（中心となる内容項目D19「生命の尊さ」）

前々時の学習（1／3時間目）「生命のメッセージ」

ねらい 命の大切さについて話し合うことを通して、命が祖先から代々引き継がれてきているものであることや一度命を失ってしまったら二度と元に戻ることがないことに気付き、命を大切に生活していこうとする道徳的判断力を養うことができる。

前時の学習（2／3時間目）「命と向き合う人生」

ねらい 命を大切に生活した生き方について話し合うことを通して、命を大切に生活した生き方とは、一生懸命物事に取り組むことであることに気付き、命を大切に生活した生き方を送ろうとする道徳的心情を養うことができる。

本時の学習（3／3時間目）

ねらい 辛いことがあっても前向きに生きていく理由について話し合うことを通して、辛いことがあっても前向きに生活することで、自分が成長したり、他者が喜んでくれたりすることに気付き、辛いことがあっても前向きに生活していこうとする道徳的実践意欲と態度を養うことができる。

評価の視点 辛いことがあっても前向きに生きていく理由について、教材の状況や生活経験を基に、多面的・多角的に考えたことを発言したり記述したりしている。 <発言・タブレット>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 教材を読み、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 習い事で、大会に向けて一生懸命練習しているから、命を大切に生活してきているな。ただ、長い時間練習するのは辛いな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・女の子は、家族が亡くなるという辛いことがあったのに、前向きに生活していこうと考えるのは難しそうだな。どうして、辛いことがあっても前向きに生活していこうと思えるのかな。（課題意識）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時で扱う道徳的価値への方向付けができるよう、前時に学習した命を大切に生活した生き方を提示し、その際の辛いことの有無を問いかける。 ○辛いことがあっても前向きに生きていく理由についての問題意識をもてるよう、教材「負けないで」の範読後、主人公の命を大切に生活した生き方の難易について問いかける。
<p>学習課題：どうして、辛いことがあっても、前向きに生活していこうと思うのだろう</p>	
<p>2 学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分よりもっと辛い人がいるから、その人のためにも頑張って生活していこうと思ったのではないかな。 確かに、そこで止まっていたのは先に進まないというの分かるな。辛くても頑張っていけないといけないことってあると思うな。 他人のためだけではなく、自分の今後の生活のためにも、前向きに生活していくことは大切なのだな。 ぼくは、大会でいい結果が出ないときは、長い時間練習することをあきらめたくなくなってしまうな。だって、練習していてもいい結果が出ないってすごく辛いことだから。 友達が言うように、辛くても前向きに取り組むことで、辛いことがあってもあきらめない考え方になれそうだな。色々なことにあきらめちゃうようになってしまいたいそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する自己の考えを自覚できるよう、タブレットに学習課題に対する考えを書くよう促す。 ○学習課題に対する自己の考えが一面的であることに気付けるよう、タブレットで児童の回答を共有し、自分と異なる考えに印を付けるよう促す。 ○学習課題に対する自他の考えを多面的・多角的にすることができるよう、友達に自己の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりするよう促す。 ○辛いことを乗り越えることの難しさに気付けるよう、自分だったら辛いことを乗り越えることの可否とその理由を問いかける。 ○辛いことを乗り越えることの大切さに気付けるよう、辛いことを乗り越えたときのことや乗り越えられなかったときのことを問いかける。

3 学習課題・テーマ課題を解決する。

・辛いことがあっても、前向きに頑張っていけば、他人のためになることがあるし、自分もまた辛いことがあったときに頑張れると思うな。
(課題を解決した意識)

・人の命は今までつながってきた大切なものだから、大切にしたいな。ただ、人生には大変なこともあるだろうけれど、他人のためにも自分のためにも一生に一度しかない人生を頑張って生活していきたいな。

- 学習課題に対する自己の考えが深まったことを自覚できるよう、再度自己の考えをタブレットに書くよう促す。
- これからの生活への見通しをもてるよう、前時・前々時に書いた考えを参考にしながら、テーマ課題に対する考えをタブレットに書くよう促す。